



# 岐阜北週報

9月 基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間

<input type="checkbox"/> 題字	波多野光裕	<input type="checkbox"/> 会長	波多野光裕	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	原尾 勝	2024-2025
<input type="checkbox"/> 会場	都ホテル岐阜長良川	<input type="checkbox"/> 幹事	三木 淳	No.1938
		会報委員長	大友 芳宏	24.9.14

## 前回の記録

第 1937 回 例会 9月8日 (日)  
岐阜北ロータリーカップ  
バレーボール開会式  
会場 JA ぎふアグリパーク鈴の坂  
体育館  
担当：青少年奉仕委員会

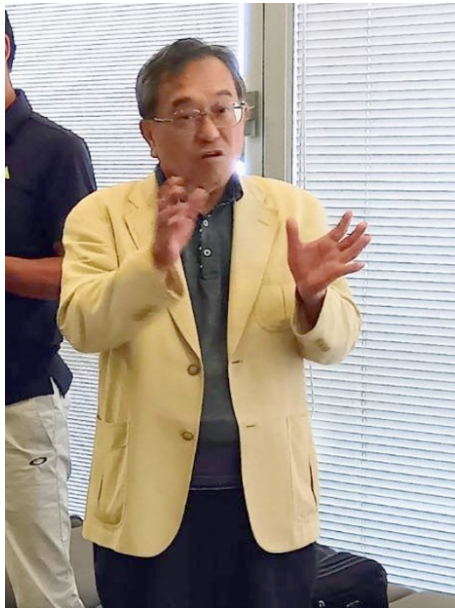
## 本日の予定

第 1938 回 例会 9月14日 (土)  
長良川 RC 合同例会  
会場 都ホテル岐阜長良川  
担当：会長・幹事

## 次回の予定

第 1939 回 例会 9月25日 (水)  
早朝例会  
担当：プログラム委員会

## 会長挨拶【波多野 光裕 会長】



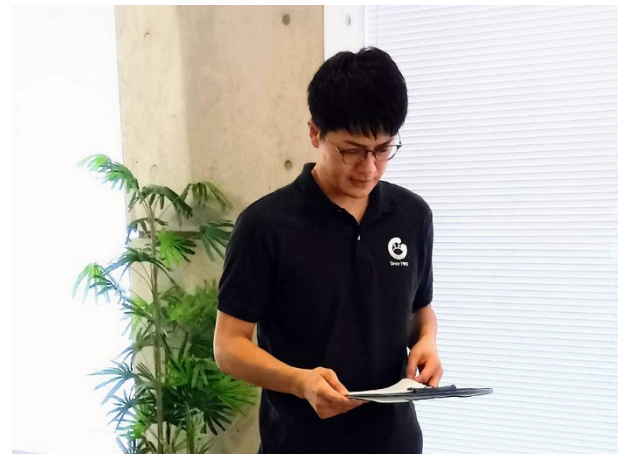
## 委員会・同好会報告事項

・ロータリー情報委員会 辻 博 委員長  
第1回 IGM 報告  
開催日 2024年8月30日  
報告者 渡辺 俊介 会員



## 出席報告

会員数：31名  
出席数：17/31名  
出席率：54.84%  
欠席者：14名（出席免除 6名）



## 幹事報告

三木 淳 幹事

- ・ 本日定例理事会の案内

## 例会行事

担当：青少年奉仕委員会

- ・ 岐阜北ロータリーカップバレーボール大会  
開会式次第
- 1 選手・役員整列
- 2 開式通告
- 3 選手入場
- 4 開式の辞 青少年奉仕委員会 湖山委員長
- 5 優勝旗返還
- 6 大会委員長挨拶
- 7 祝辞 岐阜北 RC 波多野会長
- 8 来賓祝辞
- 9 協賛者からの参加賞品の贈呈  
青少年奉仕委員会 渡辺副委員長
- 10 審判長注意
- 11 選手宣誓
- 12 閉会の辞
- 13 選手退場



選手入場



開式の辞  
青少年奉仕委員会 湖山 浩行 委員長

## 例会行事 続き



優勝旗返還



祝辞  
岐阜北ロータリークラブ 波多野 光裕 会長

第33回 岐阜市スポーツ少年団 北部ブロック・西部ブロック交歓交流会となります「岐阜北ロータリーカップ 2024バレーボール大会」が開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

選手の皆さん、大会開催に向けて日々の練習を頑張ってきたことと思います。その努力と情熱に心から敬意を表します。また、今日ここに集まった皆さんの熱意とエネルギーが、この会場を熱くすることでしょう。

## 例会行事 続き

次に、大会の開催にあたり、多くのご尽力をいただいた関係者の皆様、そして支えてくださるご家族やコーチの皆様から心から感謝申し上げます。この大会が成功裏に開催されるのも、皆様のおかげです。

先日、TVのニュースにオリンピックでも活躍されたバレーボールの西田選手が出ていました。四日市にある高校の出身で、母校を訪れ、生徒さんの質問に答えている様子が映されていました。

「きつい練習を越えた後に、何ができるようになるのかを想像しながらやると、練習も楽になる。」

「バレーボールは面白いなと改めて思いました。自分が面白かったら、見ている方々にも面白いと思っていただけたと思います。」

なるほど、と思いました。楽しくバレーボールをして、良い思い出を作っていただくことを祈念して、私の祝辞とさせていただきます。



協賛者からの参加賞品の贈呈  
青少年奉仕委員会 渡辺 俊介 副委員長



選手宣誓

## 例会行事 続き



試合風景

## I GM報告

担当：渡辺俊介会員

8月30日（金）、都ホテル岐阜長良川「四川」で、I GMが行われました。

参加者は、岡田一二三会員、河村尚江会員、榊原典夫会員、谷田育子会員、林隆行会員、世話役の辻博会員と、渡辺俊介の7名です。

テーマは、

- ①RIテーマ・地区メッセージについて
  - ②その他
- です。

【①RIテーマ・地区メッセージについて】

2024年～2025年度のRIテーマは「ロータリーのマジック」であり、これを受けて亀井ガバナーは、「地域にインパクトを」という地区方針を掲げ、地域の中で、持続可能でより社会のニーズに即した大きなインパクトをもたらす活動のアイデアを求めています。

これを踏まえて、当クラブのあるべき活動につ

## I GM報告 続き

いて、意見交換を行いました。

まず、地域にインパクトをもたらす方法としては、資金を出すという方法と、奉仕を含めた活動を行うことが考えられるが、ロータリーとしては、後者の方、つまり奉仕を含めた活動を通じてインパクトをもたらすべきだという意見が大勢であったかと思えます。

また、より社会のニーズに即した活動という点については、必ずしも新しいことをやるのが良いということではなく、当クラブが現在行っている、例えば若松学園に関わる活動、バレーボール大会、インターアクトなどの活動を、慣例として行うのではなく、より意味のある活動とするように考え、かつ、これを継続することが大事なのではないか、という意見でまとまったと理解しております。

## 【②その他について】

会員増強・維持の方法に関する意見交換がなされました。

その中では、例会の時間を、面白いこと、得られるものがある時間にすることが、会員維持・増強にもつながるのではないかと。例えば、卓話で、外部講師も含めてロータリー活動以外の話を聞ける機会をもっと多く設けるなどの方法が考えられるという意見がありました。

今回のI GMも、テーマはまさにロータリーど真ん中のものでしたが、参加者の皆様からのお話の中では、仏教の得度式のお話や、取引先からの「上代返品」のお話、境界杭の表示の読み方に関するお話など、ロータリー活動以外の部分で、大変参考になるお話を聞くこともできました。

ロータリー活動自体からだけでなく、それに伴う交流の中からも得られるものがあるということを感じましたし、外部の方や会員がそのように感じられる機会を用意することも、会員増強・維持につながるのではないかと個人的には思いました。

以上

## 次回例会のご案内

第1939回例会 9月25日(水)

早朝例会

担当：プログラム委員会

会報・広報 9月担当 前川 俊也